

まほらいな市民大学の様子

令和8年4月9日（木）

『 紙芝居 伊那に伝わる民話 』

講師 紙芝居グループ糸ぐるま代表 久保田 文子 氏



長谷の紙芝居グループ「糸ぐるま」で長年活動されている久保田文子さんと箏奏者の伊東忍さんが、長谷に伝わる伝説を切り絵の大型紙芝居と箏で息ぴったりの発表をしてくださいました。

はじめに久保田さんが「糸ぐるまの歌」を哀愁を込めた美しい声でうたいました。紙芝居「お宮の絵馬」、語り「桜伝説」と箏演奏「桜変奏曲」、繊細で美しい切り絵「仙丈と高遠の桜」の紹介、紙芝居「ヤマトタケル伝説」と長谷にある戸台川原や熱田神社の話、美和ダムの話と紙芝居「湖底のふるさと」など、とても心に残る発表が箏の音色とともに続きました。久保田さんと伊東さんの故郷長谷への郷土愛が伝わってきました。

学生からは「故郷をこよなく愛する久保田さんの活動に感銘しました。切り絵の制作のご苦労も感心しました。箏の音色と紙芝居がとても素晴らしかった。」「長谷に残る伝説を切り絵を加味され、久保田さんの素敵な語りと歌声そして箏の音色に、こどものように心を奪われました。」「紙芝居と歌を非常に興味深く聴けました。知っている地名がいくつも出てきました。地域に根ざす物語はとてもおもしろいです。」「“長谷愛”をたくさん感じました。紙芝居を長年続けられている久保田さんの生き方に感動しました。」といった感想がありました。